

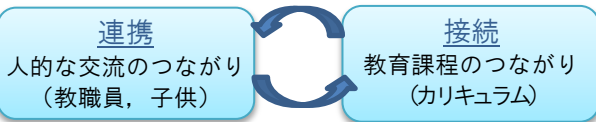
「育ちと学びをつなぐ」
幼保小連携・接続版②

遊び学び育つひろしまっ子！

「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続版の今回のテーマは、「連携・接続」です。今年度は、スタートカリキュラムの実施において、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったことが考えられますが、工夫しながら実施することで、子供たちが安心して学校生活をスタートできたという声も多く聞こえてきます。

「何をするか。」だけでなく、「何を大切にするのか。」を考えつつ、子供たちのためにできることから始めていきましょう。

連携と接続は違う？ どのような関係？



連携することで子供の育ちや教育内容、指導方法などを理解し、それをもとにカリキュラムを作成します。そして、さらに、子供の姿から見直します。**連携と接続は車の両輪**のようにどちらも大切です。

どうして連携・接続が必要な？

この質問に答えるとしたら、ずばり「子供の学びと育ちを保障するため」です。

私たちは、目の前の子供たちに一年間で力を付けるための手立てを考えがちです。ただ、子供たちはこれまでの育ちをもとに、これからを歩んでいきます。目の前にいる子供たちの育ちはゼロからのスタートではありません。これまでの子供の育ちと学びを知ることは今の子供たちの学びの充実につながるという視点を持ちましょう。

「できない」でなく、
「できること」を考えます！



「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携教育の推進事業中間報告会(R2.6.10)

7市町（廿日市市、海田町、坂町、安芸太田町、尾道市、府中市、三次市）の担当者が昨年度と今年度の取組を共有しました。

昨年度7市町では、市町の担当者のリードで連携・接続が大変進みました。コロナ対応として、「みんなで参集せず小学校区での取組を行う」、「市町からメッセージを伝えたい」など、お互いアイデアを出し合いました。

子供たちや先生方にどのように支援ができるのか、一緒に話し合いました。（7市町の取組は、研修会等でお知らせします。）

メッセージ ～子供たちと向き合う先生方へ～ 安田女子大学 朝倉 淳 教授

新型コロナウイルス感染症拡大によって、あらゆる「連携・接続」が重要であることが再認識されました。教育には多くの区切りがあります。学校段階、学年、学期などです。週や日、時間にも区切られています。子供たちが安心してチャレンジできるように、これらの区切りをどのようにに接続するかが問われています。特に、環境が変わるような区切りについては、接続のための連携が欠かせません。

いわゆる「スタートカリキュラム」は、子供たち、保護者、教職員の「安心」がキーワードです。本年度、幼保小等の連携により計画され準備されましたが、考えたように実施できなかったことは残念でしょう。ただ、大切なのは、計画どおりの実施ではなく、状況に合わせてその時々安心を創り出すことです。連携は、形を変えて大いに役立っていると感じています。

困難な状況の中、ますます重要になった「連携・接続」です。一緒に取り組んでいきましょう。一人では生きていけない私たちです。

その時々
の安心を
創る
「連携・接続」



朝倉教授には、本県の様々な取組に関して御指導をいただいています。子供と向き合う教師として、大切なことを教えてくださいました。上記の中間報告会でも指導助言をいただきました。

今年度進められている連携・接続の取組を紹介します！

福山市立あけぼの幼稚園・曙小学校の取組 ※R2 幼児教育県大会公開保育園（県大会は中止。研究集録を作成予定）

令和2年7月3日（金）、あけぼの幼稚園の園庭には、隣接する曙小学校1年1組の児童とあけぼの幼稚園の年長児たちの姿がありました。主体的に伸び伸びと活動する場が創り出されていました。



一緒に水を入れようね。

幼稚園の友達の泥団子もかたかったよ！

1年生の泥団子がピカピカですごかった！

小学校は図画工作科「すなやつちとなかよし」の授業を、2日に分けて計2時間で計画しました。1年生と年長児は、一緒に泥団子を作ったり、砂場で山や川、お城を作ったりしました。活動後は、幼稚園の先生の進行で、振り返りを行いました。

1日目は、自分（一人）で楽しんでいただけ、2日目はお互いに会話も増え、一緒に遊んだことで、お互いが刺激を受けていたそうです。

この活動を通して、子供たちの人間関係が広がり、それぞれの良さがたくさん見られたようです。



活動後は協議の時間をもちました。教育内容・方法が違う両者の思いを率直に出し合い、理解することを大切に、協議が進められました。

子供も私自身も小学校を以前より身近に感じています。小学校の先生と話す、子供の学びや育ちを大切にしたいという共通の思いがあることが分かりました。学ぶ姿勢を大切に、取り組んでいます。



あけぼの幼稚園
年長担任三島教諭



曙小学校
1年1組担任部谷教諭

幼稚園の先生方と話し合うと、新たな発見や学びがたくさんあります。子供の見方や指導方法を学ばせてもらっています。小学校が幼稚園の取組に興味をもつことで、連携・接続は進んでいくと思います。

府中市の取組 ～ブロック会を開催～

府中市では、全員で参集して協議会や研修会をするかわりに、12園・所を6つの小学校ブロックに分け、ブロック会を行うことになりました。

7月27日（月）の府中明郷学園ブロック会では、今年度実施したスタートカリキュラムや現在の状況などを踏まえ、年間を通して大切にしたいことや今年度の予定等を話し合いました。

協議では、昨年度行った交流について、「今年度の1年生が安心して小学校に入学できた。」「先生たちの思いや指導方法が分かった。」などの声が出されました。改めて、今年度も子供たちのために連携・接続を継続しよう、と再確認することができました。

短時間（1時間半）のブロック会でしたが、何を大切に、どう取り組むかについて確認することができました。



「子供も大人（保護者、地域も含めて）もみんなであつなろう！」と年間のテーマを決めました。

0歳から切れ目のない子育て支援に取り組んでいる府中市では、小中一貫教育への接続ポイントとなる「幼保小連携」を、コロナ禍でも市長部局と教育委員会、現場共に連携し、府中市の子どもたちを育てています。
(府中市女性子ども課長 山田資子)

幼児教育長期派遣研修生も頑張っています！

今年度、小学校教諭2名を幼稚園・保育所に派遣しています。日々、子供や先生と接しながら研修をしています。

研修生が作成した通信を下記のホームページに掲載する予定です。ぜひご覧ください。



☞画像は、長期派遣報告会の様子です。所属校長、派遣園からも参加いただき、連携・接続について協議しました。

県内各地で、状況や実態に合わせて工夫した取組が進められています。これからも、頑張る先生方の取組を御紹介します。私たちがすべきこと、できることをこれからも考えていきましょう。

【発行元及び連絡先】広島県乳幼児教育支援センター
〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会事務局（東館6階）
TEL (082)513-4978 FAX (082)212-3331

広島県乳幼児教育支援センターホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/youji-index.html>

